

都市空間部会 用語集

めざす都市空間の全体像

減災

減災とは、災害による被害は完全に予防できないことを前提として、その被害を最大限に軽減していくという視点によるもので、防災コストを、被害を0に近づける上で最も有効な部分に選択と集中させることにより、効果的な災害予防などを図ること。

低炭素社会

気候に悪影響を及ぼさない水準で大気中温室効果ガス濃度を安定化させると同時に、生活の豊かさを実感できる社会

メガ・リージョン

「メガ・リージョン」の概念は、世界的に著名なアメリカの経済学者であるリチャード・フロリダ氏が提唱。国内では、関西経済連合会や近畿経済産業局が調査研究を行うなど、近年注目されている都市の考え方である。決まった定義として確立されていないが、関西経済連合会の報告書においては、「経済・産業・流通など多様な財・サービスが有機的にネットワークしている圏域」と定義づけている。

市街化区域

すでに市街地を形成している区域およびおおむね10年以内に優先的かつ計画的に市街化を図るべき区域のこと

自主運行バス

路線バスの撤退などで、住民の足の確保が困難となった地域において、地域の住民などが組織した団体が一定の経路を定期的に運行するバスのこと

知識創造型産業

情報や知識、特許、技術、ノウハウといった無形の知的資源をもとにして、これを加工して付加価値をつけ、新たな知的生産物などを創り出す産業

スーパー中枢港湾

アジアの主要港（釜山港など）に比べて国内港のコンテナ取扱量が低迷していることから、国土交通省が全国で数港を指定し、国際拠点港として育成する施策。スーパー中枢港湾においては、民間分を含めた港湾コストの約3割の削減や、リードタイムの1日程度への短縮により、港の国

際競争力を強化することを目標としている。

デザイン都市・神戸

住み続けたいくなるまち、訪れたいくなるまち、そして、持続的に発展するまちをめざして、文化・教育にたずさわる人々や企業だけではなく、すべての市民が、神戸の持つ強みを活かし、デザインによって新たな魅力を“協働と参画”で創造する都市をいう。

秩序ある土地利用の誘導

市街化区域

すでに市街地を形成している区域およびおおむね10年以内に優先的かつ計画的に市街化を図るべき区域のこと

新田園コミュニティ

近年の「自然」、「ふるさと」志向の高まりとともに、都市部の住民を中心として、農村地域の豊かな自然環境に「ゆとり」、「やすらぎ」などを求める動きが見られ、「定住」や「就農」への希望も増えている。

一方で、農業・農村地域では、少子・超高齢化の進展等による地域活力の低下が懸念されており、若年層を中心として定住の促進による地域活性化策が望まれている。

新田園コミュニティは、このような背景を受け、里づくり計画を通して地域の活性化に地域ぐるみで取り組む集落を支援する一手法として、農村の豊かな自然環境をいかしながら都市との調和に配慮した新たなコミュニティの実現をめざすことをいう。

みどりの聖域

豊かで多様性に富んだ緑地環境の保全と活用の調和を図るため「緑地の保全、育成及び市民利用に関する条例」を制定し、市街化調整区域の緑地について重要度評価に基づき、「緑地の保存区域」「緑地の保全区域」「緑地の育成区域」を指定している。これらの区域をまとめて「みどりの聖域」と通称している。

海・空・陸の総合的な交通環境の形成

フライ・アンド・クルーズ

飛行機（フライ）と船（クルーズ）を組み合わせた旅行のこと。神戸港は、神戸空港や関西国際空港などから近く、周辺に魅力的な観光地が多いので、フライ・アンド・クルーズに最適な港といえる。

瀬戸内クルーズ

神戸港を発着港とした、瀬戸内海沿岸の寄港地を巡るクルーズのこと。

母港

クルーズの拠点となる港のこと。

ハブ港

海運の拠点となる国際的な港のこと。ハブ（車輪の軸）のように、そこから放射線状に各海路が伸びていることからこう呼ばれる。

広域幹線道路

次の3種類の道路を総称したもの。

- ① 高規格幹線道路：自動車の高速交通の確保を図るため必要な道路で、全国的な自動車交通網を構成する自動車専用道路のこと
 - ・高速自動車国道（中国縦貫自動車道、山陽自動車道）
 - ・一般国道自動車専用道路（神戸淡路鳴門自動車道、第二神明道路、第二神明道路北線）
- ② 地域高規格道路：高規格幹線道路と一体となって、地域発展の核となる都市圏の育成や地域相互の交流促進、空港・港湾等の広域交通拠点との連絡等に資する路線のこと
 - ・阪神高速道路、一般有料道路（新神戸トンネル、六甲北有料道路）等
- ③ 一般国道（指定区間）：いわゆる直轄国道（国道2号、43号、175号）

計画路線

都市計画決定等により、ルート・構造が定まっている路線のこと。

構想路線

広域的な連携や広域幹線道路のネットワーク形成のために、将来的に必要性のある路線ではあるが、ルート・構造が未確定であったり、整備優先順位が低い路線のこと。

ミッシングリンク

生物学用語の「失われた環」から転じた言葉で、道路体系網における連続性の欠如のこと。

都市内幹線道路

市内の拠点間の連携を強化するため、既成市街地の東西、及び既成市街地から放射状に配置した都市の骨格となる道路網のこと。

交通結節機能

複数の交通手段をつなぐ施設による、鉄道と徒歩、自転車、自家用車及びバスの乗り換え機能のこと。

EST

Environmentally Sustainable Transport の略で、環境的に持続可能な交通のこと。

水と緑を大切にした都市空間の形成

水源環境

水の恵みは、上流域の森林や河川など水源地域の自然環境によって育まれるもので、水の浄化などの機能を十分果たせるよう良好な状態に保たれる必要がある。現状では、森林の荒廃や上流域における生活排水対策の遅れなど様々な課題がある。

「デザイン都市・神戸」にふさわしい魅力ある景観の形成

修景

景観として美しく整えること。一般に、建築や、公園計画、道路計画等において、街なみや自然環境と調和するよう、装飾的な処理をしたり、地形を整えたり、植栽を付加したりすること

堰堤

治水・利水・治山・砂防・廃棄物処分などを目的として、川や谷を横断もしくは窪地を包囲するなどして作られる土木構造物のこと（一般的にはダムといわれている。）

眺望景観

山頂や海上あるいはビルの屋上などから海や山を市街地とともに眺めるような、より広域的な景観のこと

快適な住環境の形成

再生可能エネルギー

国際的に統一された定義はありませんが、国際エネルギー機関（IEA）によると、「絶えず補充される自然のプロセスに由来するエネルギー」とされており、太陽光、風力、バイオマス、地熱、水力、海洋資源から生成されるエネルギーなどが含まれる。

シックハウス問題

化学物質を放散する建材・内装材の使用などにより、新築・改築後の住宅・ビルなどにおいて室内の空気が汚染され、居住者に様々な健康被害を引き起こしている問題。症状が多様で、症状発生の仕組みをはじめ未解明な部分が多く、また様々な複合要因が考えられる。

ライフステージに応じた住宅

人間の一生を段階に区分したもので、幼年期、少年期、青年期、壮年期、老年期などに分けられる。特に、すまいとの関わりからは、家族の構成が変化する段階をいい、若年単身、結婚、子どもの出生・成長、子どもの独立又は2世代居住、高齢夫婦又は3世代居住といった大きな循環がある。今日では、このライフステージの循環も多様化してきている。

住宅性能表示制度

「住宅の品質確保の促進等に関する法律」において設けられた制度。国が定めた日本住宅性能評価基準という共通の「ものさし」によって、住宅の「構造の安定」、「火災時の安全」、「劣化の軽減」、「維持管理・更新への配慮」、「温熱環境」、「空気環境」、「光・視環境」、「音環境」、「高齢者等への配慮」、「防犯」の10項目に関して客観的な評価を行い、その性能を表示することにより、住宅取得者の判断基準とすることを目的としている。

環境にやさしく持続可能なまちをめざした取り組みの推進

低炭素社会

気候に悪影響を及ぼさない水準で大気中温室効果ガス濃度を安定化させると同時に、生活の豊かさを実感できる社会

循環型社会

資源採取、生産、流通、消費、廃棄などの社会経済活動の全段階を通じて、廃棄物などの発生抑制や循環資源の利用などの取組により、新たに採取する資源をできるだけ少なくした、環境への負荷をできる限り少なくする社会

自然共生社会

生物多様性が適切に保たれ、自然の循環に沿う形で農林水産業を含む社会経済活動を自然に調和したものとし、また様々な自然とのふれあいの場や機会を確保することにより、自然の恵みを将来にわたって享受できる社会

環境保全協定

平成6年3月の「神戸市民の環境をまもる条例」の全面改定時に創設されたもの。

市と事業者が協働し、従来の公害防止対策にとどまらず、省資源・省エネルギー、地球温暖化防止等、総合的な環境保全活動を推進していくために締結する協定

排出ガス量、排水水量、延床面積、資本金等が一定規模以上の事業所（指定事業所）を有する事業者で、本協定の趣旨に賛同する環境保全に積極的な事業者を対象としている。

- ・協定締結事業者数：102（平成21年7月末現在）

CASBEE神戸

財団法人建築環境・省エネルギー機構に設けられた建築物の総合的環境評価研究委員会において開発された評価システムがベースとなっている神戸市における環境評価制度。

延べ面積が2000㎡以上の建築などを行う場合、建築主は、建築物総合環境配慮指針により総合的な環境評価を行い、建築物の環境品質・性能の向上及び建築物による外部環境負荷の低減に努めなければならない。

アセットマネジメント

資産管理（Asset Management）の方法。道路管理においては、橋梁、トンネル、舗装等を資産ととらえ、その損傷・劣化等を将来にわたり把握することにより、最も費用対効果の高い維持管理を行うための方法

ヒートアイランド（ヒートアイランド現象）

都市の気温が郊外に比べ高くなる現象で、都市を覆う形で、島状の高温のドームが形成されるため、ヒートアイランドと呼ばれている。

この原因は、エネルギー消費による都市排熱の発生、コンクリートやアスファルト構造物による地表面の改変が主因とされ、特に夏場は、都市部の冷房器具の需要が増大し、さらに人工排熱を増加させるという悪循環を引き起こしている。

クリーンセンター

燃えるごみを処理するため神戸市が設置する「一般廃棄物焼却施設」のこと
全国的にも、自治体が設置する「一般廃棄物焼却施設」にこの名称を用いる例は多い。

災害などの危機に備えた安全な都市空間の形成

ハザードマップ

火山噴火や洪水、土砂災害、津波等の自然災害に対して、被害が予測される区域および避難地・避難路等が記載されている地図のこと。

減災

災害による被害は完全に予防できないことを前提として、その被害を最大限に軽減していくという視点によるもので、防災コストを、被害を0に近づける上で最も有効な部分に選択と集中させることにより、効果的な災害予防などを図ること。

緊急輸送道路

・第一次緊急輸送道路：県域外を連絡する自専道、一般国道、及び生活圏中心地、広域防災拠点
点を連絡する幹線道路

- ・第二次緊急輸送道路：第一次緊急輸送道路と連絡し、行政機関事務所等に連絡する道路

地域が主体的に取り組み地域環境をつくる

密集市街地

「密集市街地における防災街区の整備の促進に関する法律（以下、密集法）」の第2条において、「当該区域内に老朽化した木造の建築物が密集しており、かつ、十分な公共施設が整備されていないことその他当該区域内の土地利用の状況から、その特定防災機能（火事又は地震が発生した場合において延焼防止及び避難上確保されるべき機能）が確保されていない市街地をいう」と定義されている。

新田園コミュニティ

近年の「自然」、「ふるさと」志向の高まりとともに、都市部の住民を中心として、農村地域の豊かな自然環境に「ゆとり」、「やすらぎ」などを求める動きが見られ、「定住」や「就農」への希望も増えている。

一方で、農業・農村地域では、少子・超高齢化の進展等による地域活力の低下が懸念されており、若年層を中心として定住の促進による地域活性化策が望まれている。

新田園コミュニティは、このような背景を受け、里づくり計画を通して地域の活性化に地域ぐるみで取り組む集落を支援する一手法として、農村の豊かな自然環境をいかしながら都市との調和に配慮した新たなコミュニティの実現をめざすことをいう。

生活密着型サービス業

身近な生活ニーズを満たすサービスを提供する業種をいう。

例としては、日常生活支援サービス（食事、入浴、排泄、外出などへの支援）、宅配・配食サービス、移送サービスなどがある。

コミュニティビジネス

市民が主体となって、地域が抱える課題をビジネスの手法により解決し、またコミュニティの再生を通じて、その活動の利益を地域に還元する事業のこと。法人、資格を示すのではなく、「地域性・社会性・事業性・自立性」を伴った地域事業のことを指す。

活力・知力・魅力にあふれるリーディングエリアの創出

ガーデンタウン

緑の適正配置等による潤いと憩いのある空間の創出による、歩いて楽しいまちをイメージしたもの